

平丸～蛭ヶ岳～丹沢山～塔ノ岳～大倉

期 日：2016年12月3日（土曜日）

コース：橋本6：20→タクシー→三ヶ木バス6：55→平丸7：30～7：39→大平分岐9：43→黍殻避難小屋の見える場所9：49→東海自然歩道最高標高地点1433m10：33→原小屋平10：56→地蔵平11：06→蛭ヶ岳12：20～50→不動の峰13：50→丹沢山14：34→竜ヶ馬場15：02→塔ノ岳15：44→金冷し16：06→花立山荘16：19→堀山の家16：40～50→大倉18：15～16：38

参加者： M・T S・F Y・K T・A

報 告：



左折看板が有り標識に従って左折し車止めゲート脇を通って車道を進むと姫次・焼山登山口の標識が有った。

三ヶ木から土・日しか接続していない月夜野行きバスを利用し蛭ヶ岳～大倉間丹沢主脈縦走（焼山は抜かした）の日帰り計画を立てた。月夜野行きバスは登山客で満員だったが、大半の登山者は焼山登山口又は西野々で下車し平丸迄は私達の他数人であった。バス停の進行方向に少し進むと八幡神社への



登山口で身支度を整え軽い柔軟の後のよいよ出発。黙々と歩き平丸分岐に1時間30分。



平丸分岐から更に水場の分岐でもある大平分岐まで20分で歩く。ゆっくりだが順調。





黍殻避難小屋を登山道から見下ろして進む。近くまで行く時間の余裕は無い。小綺麗で皆で泊まりたいと話しながら進む。東海自然歩道の一部だけあって道は整備され歩き易い。東海自然歩道最高標高地点1433m通過。



最高地点からの富士山。ここで大休止を取ったので姫次は写真も撮らずに通過。カラマツは既に落葉していた。

曇天気の良い地蔵平。葉を落とした樺もいい。



蛭ヶ岳山荘が見えた時は嬉しかった。山頂にて昼食タイムを30分取る。





これから辿る丹沢山への縦走路と中央右の塔ノ岳
遠いなー。

いつもの記念写真
蛭ヶ岳山頂からの富士山



不動の峰標柱



不動の峰休憩所には立ち寄らず。

数日前54年振りに降った雪融けで道は泥濘が多くなる。行く手に丹沢山らしい霧困気の笹原。谷川岳縦走を思い出しながら歩いていた仲間がいた。





みやま山荘前に大木の蔓梅擬が沢山の実を付けていた。

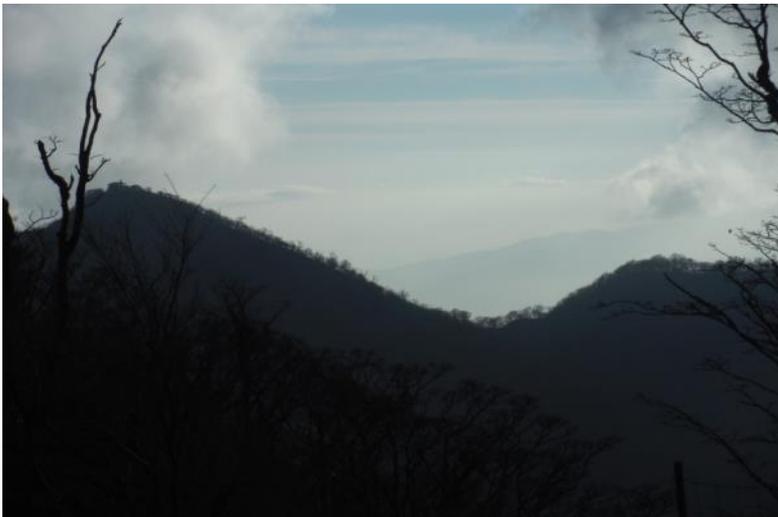


ここまでの登山道は木道だったり、木の階段が多く鬼ヶ岩付近の岩場を除けば特に危険箇所は無し。丹沢山山頂に有るみやま山荘が見えた。ここでも大休止。



なぜ、ぐるぐる延びる蔓状では無いのか？

丹沢山からは沈みゆく太陽との追いかっこの気持ちが強くなり下りでは突然早くなったり、登りはやはりゆっくりしか歩け無くリズムが一定でなくなる。先頭としては悪い歩き方になる。



左の木の枝辺りに尊仏山荘が見える。

竜ヶ馬場の標柱





竜ヶ馬場付近から見た大山。
塔ノ岳山頂の尊仏山荘。



4時近いのに塔ノ岳山頂にはザックを背負った登山客が沢山いた。



単独らしい山ガールにお願いして写真を撮ってもらう。後は出来る限り明るいうちに下れるだけ降る。出来る限りヘッドランプ使用時間は少なくしたい。

リズムが取りにくい階段。



鍋割との分岐。金冷し通過16:06分。





花立山荘前から夕陽に赤く染まる西の空と富士山16:19分。もう少しヘッドンなしで歩ける。頂垂れている訳では有りません。

頑張って堀山の家まで歩いたが、さすが堀山の家前のテーブルでヘッドン装着。山の家からは楽しそうな夕餉の時間の笑い声が聞こえ、何故か郷愁を誘う煙の臭いも漂っていた。此方ももうすぐビールと自分を励ます。



やがて大倉バス停です。青く光っているのはライトアップされた風の吊り橋。

18:15分大倉バス停到着。長く楽しい一日だった。ヘッドランプを付けた登山者数人に抜かされる下山でもありました。

